

古里の発展願いい
和やかに新年会
東京福島県人会



新年会であいさつする
安齋会長

東京福島県人会の新年会は三十一日、東京

都荒川区のホテルラングウッドで開かれた。約百四十人が出席し、安齋隆会長（二本

令和2年2月10日 福島民報

松市出身、東洋大理事長）が東京五輪・パラリンピックなどを念頭に「変化の激しい時代を感じさせる年のスタート。今年は世界へ福島をアピールできる年。大いに期待している」とあいさつした。

会に先立ち、元原子力規制委員長で飯館村復興アドバイザーの田中俊一さん（福島市出

身）が「福島復興のために」と題して講演し、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興状況と放射線に関する正しい理解を解説した。二本松市ゆかりの女優・一色采子さんによる日本舞踊、本宮市出身の歌手・福本えみさんによる歌謡披露が懇親会を盛り上げた。

福島民報新聞 (令和2年2月10日)

本県の復興や
県勢伸展誓う

東京県人会新年会

東京県人会は1月31日、東京都内で新年会を開き、本県復興や県勢伸展を誓った。安齋隆会長（二本松市出身、セブン銀行特別顧問）



新年を祝った東京県人会の会員たち

はあいさつで、今夏に迫った東京五輪に触れ「オリンピックを機に福島が注目されようとしており、楽しみにしている」と語った。

約130人が出席。鈴木正晃副知事の祝辞の後、二本松市出身の日本画家故大山忠作氏の長女で女優の一色采子さんが日本舞踊を披露。本宮市出身の民謡歌手福本えみさんが歌声で花を添えた。古川清常任相談役（港区県人会長）の発声で乾杯し、県産酒などを味わいながら懇談した。また元原子力規制委員長で飯館村復興アドバイザーの田中俊一氏が「福島復興のため」と題して講演した。